

城西大学「休耕地活用プロジェクト」  
オール埼玉ブランド日本酒づくり「醸彩 滝不動」

城西大学現代政策学部石井ゼミでは、課題解決型教育（PBL）の一環として、地域の休耕地を活用するプロジェクトを進めています。

2011年度は、高麗川ふるさと遊歩道のお花畑化や葉酸多含有野菜を原料とした「情熱カレー」の製品化とともに、「オール埼玉ブランド」の日本酒づくりに取り組んで参りました。

埼玉県開発の酒米「さけ武蔵」の栽培から日本酒づくりに至るまで、地域農家や酒造などと連携して、オール埼玉ブランドの日本酒「醸彩 滝不動」を完成させました。2012年6月17日（日）には坂戸市文化会館との共催でお披露目イベントの開催を予定しています。

★ オール埼玉ブランドの日本酒「醸彩 滝不動」

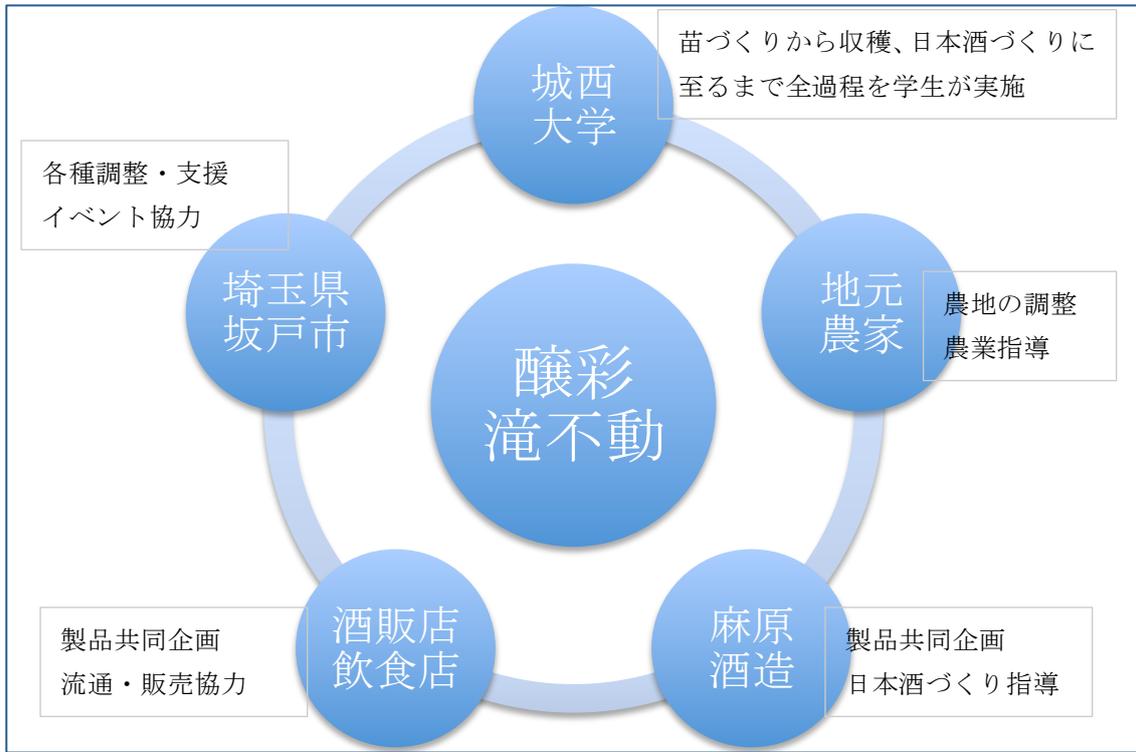
- ・ 坂戸市にある城西大学現代政策学部石井ゼミの学生たちが、
- ・ 坂戸市四日市場の休耕地を地元農家の指導のもとで活用し、
- ・ 埼玉県開発の酒造好適米「さけ武蔵」を栽培し、
- ・ 毛呂山町の麻原酒造で日本酒造りに取り組み、
- ・ 坂戸市の酒店ほりこし商店を通じて、
- ・ 坂戸市、鶴ヶ島市の飲食店「海」「いちき」などで提供するオール埼玉ブランドの日本酒です。

★ 「醸彩（じょうさい） 滝不動」の名前の由来

- ・ 学生たちのアイディアで、城西大学の「じょうさい」から韻をいただき、彩の国埼玉から生まれた日本酒ということで「醸彩」と名付けました。
- ・ 今回の日本酒をつくりあげるに至るまで、地域の様々な方々との連携・協力をいただいたことをふまえ、多くの方々のつながり（彩り）から醸し出された成果という意味を込めています。
- ・ 「滝不動」という商品名は、今回「さけ武蔵」を栽培した坂戸市四日市場に昔からあるお不動「滝不動」より名前をいただきました。
- ・ 「醸彩」はシリーズ名として今後継続的に使用し、商品名については、大学周辺の農家さんが今後このプロジェクトに参加してくださった際には、各地域名にそくした名前を商品名として付けていくこととなります（具体例として2012年度は、今春現代政策学部を卒業して農の6次産業化をテーマに起業した学生が、坂戸市浅羽野地区で酒米を栽培し、製品化する予定です）

\*本プロジェクトは、城西大学学長所管研究及び埼玉県「農との共生 田園都市豊かなくらし満喫事業」から支援をいただいております。

オール埼玉ブランド日本酒づくり「醸彩 滝不動」 概念図



作業風景（抜粋）



田植え



水管理（毎日朝夕）



稲刈り



日本酒造り研修



麴造り



搾り